

スリーアール

3Rのススム。



2024

冬⑥

今回のシリーズは、京都府の依頼を受けて産廃の3R技術の紹介をしています。先日、京都府内の産廃処分業者を訪問して会社概要や処理技術、今後の方向性などをお聞きしました。

特集

解体木くずが真っ新の木質建材に生まれ変わります

伏見クリエイト株式会社

会社概要・PR

伏見クリエイト株式会社は、創業より「廃棄物の適正処理」を社是とし、一般廃棄物、産業廃棄物の処理業を行って参りました。

「木くず」のリサイクル業に京都府内で最初に着手して、現在、皆様にご支援ご指導を賜りながら、「木くず」をチップ化する中間処理ラインを完成させ、木くずのリサイクルに取り組んでおります。

建築物の建設、解体に伴い排出される「木くず」をチップ化しボード原料として再利用しております。

また、河川等から伐採される生木をFIT制度（固定価格買取制度）を活用してサーマルリサイクルを行っております。

これらを通じて化石燃料からの脱却、二酸化炭素排出を抑制できるよう努めております。



3Rを進めるための課題や要望

まずは排出現場での分別の徹底、不純物の除去をお願いします。良質なチップを製造するためには不可欠です。

また、生木の受入れは季節変動が大きく、時期によっては通常の1.5倍にもなります。加えて、作業を行うにも人材確保が必要になります。できるだけ処理量がコンスタントになることで、少しでもコストの低減になればいいと思っています。

産業廃棄物の処理は、顧客の皆さまとの信頼関係が大変重要です。当社では長年多くの排出事業者さんとの取引実績がありますので、引き続き安心・安全な3Rの推進に向けて取り組んでまいります。



今後の思い

現在、木くずに関しては100%のリサイクルが実現できております。

業界全体が動脈産業となりつつある中でサーマルリサイクルからマテリアル・ケミカルリサイクルの流れが来ております。技術の進歩に置いて行かれないように木くずを材料として集め、供給し続けることにより地球を守っていることを自負しこれからも従業員とともども励んでまいります。

木造家屋の解体工事で大量に発生する木くずは、破碎されて、新たなボードや燃料として有効利用されています。

木くずの3R技術

木くずをチップ（製品）にすることでリサイクルを行っており、そのため種類ごとの分別、釘やその他鉄くず等、不純物の除去を徹底することで、良質なチップの「製造」を進めています。

建設廃材：解体工事から発生



柱



燃料材



シバ・パレット

生木：開発工事、造園工事、河川工事から発生



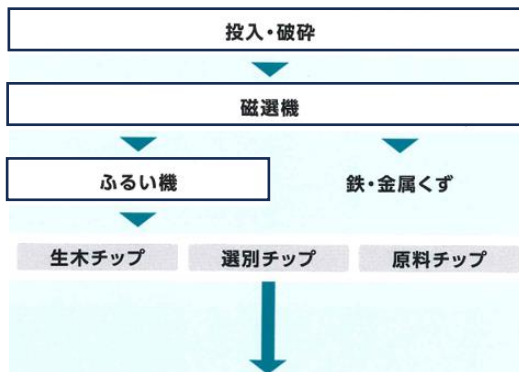
幹



根



枝葉



ボード用	主に建設廃材から作るボードの原料
バイオマス発電用	幹、枝、根などの生木から作るもので化石燃料の代わりに燃焼させて発電に使用。
燃料用	ボード用、バイオマス発電用以外のもので主にセメント会社等の燃料に使用。